

本の紹介

小さな店の作り方
～育児しながら起業編～
現役ママの編集チーム まちとこ・
編/辰巳出版

「自分のお店を開きたいけど、まだ子どもも小さいから」と悩んでいるママたちにおすすめしたい一冊です。開店までのモデルケース、一日のタイムスケジュールが細かく載っているので、自分に合った働き方が見つかるかもしれません。(竹下)



マイペースで働く！
女子のひとり起業
滝岡幸子/同文館

女性の人生は、結婚・出産・介護と変化に富んでいます。それぞれの時期を柔軟に過ごし、起業で夢を実現した女性たちが紹介されています。成功した人の仕事の選び方・時間とお金の使い方なども大公開。これから「起業したい人」「新しい働き方を考えている人」におすすめです。(川村)



小さなお菓子屋さんと
パン屋さんのはじめかた
編著「わたしのお店のはじめかた」編集部/株式会社マイナビ

実際に開業しているお菓子屋さん・パン屋さんのお店の様子やインタビューがたくさん紹介されています。また、後半にはお金や数字のことなど、お店づくりの基礎知識も掲載されています。写真やイラストも楽しく、見ているだけでウキウキしてきます。(福田)



上記の本はアイレックで借りることができます。



毎回の特集記事で、さまざまなことを学びました。今回はフェスタに「染織工房いっぽ」として参加でき楽しめました。

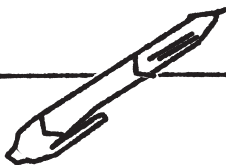


はじめに小紫さんの講座があり、休憩を挟んで1時間ほどの交流会でした。参加者は20名ほどでしたが、会場は始まる前から熱気に包まれ、顔見知りになった参加者が情報交換している姿があちこちにありました。小紫さんの講座は事業を継続させるためのお金の話で、起業を志したものなら誰もが抱える課題です。価格設定の演習では実践に即した課題に、みな一生懸命電卓に向かい、自分の方針や能力と利益を上げるため大いに盛り上がりました。交流会ではテーブルごとに、小紫さんの講演で印象に残っていることを話し合いました。その後自由にチラシや名刺、情報誌を片手に言葉を交わして情報を交換していました。最後はこの仲間との別れを惜しみつつ、フェスタの出会いに感謝し、交流会は幕を閉じました。(まとめ 安井)

出展者の感想

女性起業応援事業を通じて、思ったことは？

- ・ 家族の協力、理解が大切。
- ・ 壁にぶつかった時は、自分の夢を思い返して乗り切った。
- ・ 産後も働き方を変えて続けられた。
- ・ 自分がいいなと思うことは、他の人も同じだという発想が大切。
- ・ 不調の時こそ、起業のチャンス。
- ・ 自分自身を見つめなおす時間も大切。
- ・ 新しい出会いがあった。
- ・ やらないと何も始まらない。



「女性起業応援事業」委託団体

「空想・起業・チャレンジ企画」(略称KKC)

私たちは女性の起業を支援するため「空想・起業・チャレンジ企画」(KKC)という団体を立ち上げました。「起業してみたいけれど、どうしたら?」「すでに始めてみたけれど、今後どうしていけばいい?」といった悩みの解決の糸口になればという思いで、清瀬市、東久留米市在住の女性5人が集まり「女性起業応援事業」の企画、運営を行いました。

ワークライフバランスの実現を考える上で、女性の起業はひとつの選択肢になるという観点から、そのための講座を3本、実践の場として出展を通したフェスタを2回、その後の交流会1回を実施し、たくさんの女性に参加していただくことができました。



KKCの皆さん

フェスタの参加者からは「自分の生活などを考えるきっかけとなった」「今後にも繋がりそうな出会いがあった」「新たな世界が開けそう」「自立する女性と一緒に学んでいきたい」などの感想が届いています。

フェスタ出展者交流会

平成29年1月15日(日)

東久留米市市民プラザ会議室